

今後の交流拡大に期待大

駐日オーストラリア大使が本市を訪問

オーストラリアのアリステア・マレー・マクレーン駐日大使は、7月30日に本市を訪れ、農業関係施設などを視察しました。

今回の訪問は、地方各地とオーストラリアとの絆を深める目的で実施したもので、特色ある農業振興を知るため、本市の北館製麺や市花き研究開発センターなどを視察。ニュージーランドと共同でリンドウ生産に取り組んでいる説明を聞き、「タスマニア州も気候が似ているので、今後機会を探したい」と述べました。



雨の中、リンドウのほ場を見学するマクレーン駐日大使(写真右)



火入れを行う協和エクシオの桐林環境本部長(写真左)と田村市長

東北初のバーク対応型炉

国際交流村でチップボイラー火入れ式

市は、岩手山焼走り国際交流村日帰り温泉施設「焼走りの湯」にバーク（樹皮）対応チップボイラーを設置し、8月6日に火入れ式を行いました。

建物を含めた総工費は1億4,595万円で、全国で6件目、東北では初となるバーク対応型のオーストラリア製ボイラーを採用しました。

火入れ式には、関係者など約20人が出席。田村市長と、請負業者である株式会社協和エクシオ（本社東京都）の桐林俊光環境本部長がボイラーに点火しました。

作品の情景脳裏に浮かぶ

西根第一中が創立50周年を記念し朗読会

西根第一中学校（中村晴彦校長、生徒152人）は、7月23日、同校体育館で朗読会を開催しました。

この朗読会は、同校創立50周年記念事業として開催したもので、映画「釣りバカ日誌」などで活躍する女優樹原ゆりさんが、いじめや家庭問題を題材とした小説「ハッピーバースデー 命かがやく瞬間」を、登場人物をすべて演じ分けながら朗読。出席した全校生徒や父母たちは、作品の情景を脳裏に浮かべながら、朗読の世界に浸っていました。



情感を込めて朗読する樹原ゆりさん



「不審者だ。それ逃げる」
(7月22日、東大更小防犯教室)



「高齢者宅電気設備の奉仕点検を実施」
(7月28日、東北電気管理技術者協会)



「8月15日の市夏まつりに50万円寄付」
(7月30日、市建設協同組合から)